

2025年度 研修事業 広報委員会 副委員長 藤原 亮介

2025年11月26日(水)に、西宮市民会館301会議室にて、研修事業(講師例会)が開催されました。

講師には西宮市在住で第171回芥川賞受賞作家の松永 K 三蔵先生をお迎えしました。芥川賞を受賞されるような作家の方にお会いすることは滅多に無いかと思いますが、とても気さくに、軽快なトークで、生い立ちから会社員時代の仕事と執筆作業との両立、そして作家として独立されてからのお話や、講師おすすめの小説のご案内をしていただきました。



特にご自身のお仕事を製造業に例え、執筆の工程管理、戦略や営業等、会員のビジネスにも直結するような具体的なお話をされていたのが印象的でした。

後半には内田研修委員長がインタビュアーとなって講師への質問タイムもあり、会員から事前に募集した質問について、お時間の許す限り丁寧に答えていただきました。全ての経験がネタになることなど、講演とはまた違った切り口でのお話はとても参考になりました。



そしてなんと最後には松永 K 三蔵先生の小説「カメオ」、「パリ山行」のサイン会も行っていました。参加された方の記念になったかと思います。

研修事業後は講師を交えた懇親会を開催しました。新入会員の自己紹介やサプライズもあり、大いに盛り上がりました。講師だけでなく会員同士も交流も深めることができ、大変有意義な時間となりました。

最後になりましたが、講師を引き受けてくださった松永 K 三蔵先生、設営を担当された研修委員会の皆様、誠にありがとうございました。

入って良かった青年部 地域交流委員会 阪本 嵩仁

今年度、地域交流委員会に所属しております、阪本嵩仁です。

私は個人事業にて、横笛や太鼓などの和楽器の演奏活動、レッスン業を行っています。ホテルでの宴会や学校公演、各種イベントなど、ご依頼主様の要望に合わせて日本の楽器を主体とした演奏、和楽器の演奏に触れてみたい方への演奏指導、また、コンサート企画やCDなどの音源制作、子ども太鼓教室、和楽器ワークショップなど、主催事業も多数開催し、さまざまな形で和楽器の魅力を届けています。



青年部に入会したきっかけは、西宮市には素晴らしい音楽ホールがあり、文化や芸術を楽しむ空気がとても強い街だと感じていたこと。そして、そんな街で活動されている皆様とつながってみたいと思ったことが大きな理由でした。

今年度は青年部の事業でも演奏の機会をいただき、私が主催する公演にも多くの青年部メンバーの皆様が足を運んでくださっています。いつも温かい応援をいただき、本当に励みになっております。また、地域交流委員会が担当する「みやしる」では、委員長やメンバーの皆様と共に活動する中で、事業運営に対する考え方を間近で学ばせていただいています。子どもたちへの



和楽器体験の機会をいただけたことも、私にとってとても貴重な経験となりました。

まだ個人事業者として独立して日が浅い私にとって青年部の皆様との出会いは、学びと刺激の場であると感じています。これからも、青年部活動を通じ西宮を盛り上げていけたら嬉しく思います。

